

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 <small>位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。</small>																	
事務事業名	土地改良事業費	補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	6	項	1	目	5	事業	1
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	土地改良	係	作成者	櫻井 秋博	内線(電話番号)	2330	シート作成日	H30.5.11	部長決裁日	H30.10.24			
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 :)			根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 :) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 :)										

2 事務事業の目的 <small>当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。</small>																							
現状課題	・設置後40年以上経過し老朽化した農業用施設の修繕(水路・ポンプ施設・機場等) ・農地の維持管理(農地の草刈や水路の泥溜い) ・農家の高齢化及び後継者不足に伴い、農家をリタイヤした際に農地が耕作放棄地になるのを防ぐ為、担い手農家(大規模農家)と連携し、担い手農家にバトンタッチし耕作して頂けるよう、農地の大区画化を目的とした田、畑の整備										誰・何を対象に 農地を対象に管理している地元農家組合・圃場整備の実行委員会・土地改良区		望ましい状態	常総市は宅地以外の土地に関して、田及び畑が市の全体面積の大半を占めている。このような地域の中、農家とともに発展してきた常総市において、農地を守る、関連施設を機能回復させることが、将来においても、安定した農業経営が維持できるようにすることが望ましい									
	どのような方法・手順で 農業用施設の修繕費・維持管理の活動費及び圃場整備費として負担・補助している																						

3 事務事業の主たる成果指標 <small>数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。</small>														
指標名	多目的機能支払交付金事業	単位	組織	目標値	15	目標年次	平成 35 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	地元組合で実施している維持管理費・農業用施設の修繕費・圃場整備など国・県・市にて負担金として支出しており、その大半は県営事業(県が事業主体)					

4 事務事業の実績 ㉑ <small>当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。</small>																														
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度																					
	業務名				業務名				業務名																					
	活動量				活動量				活動量																					
事務事業を構成する主な業務	①	多目的機能支払交付金			10組織	①	多目的機能支払交付金			11組織	①	多目的機能支払交付金			13組織															
	②	県営菅生地区畑地帯総合整備事業			圃場整備	②	菅生地区畑地帯総合整備事業			圃場整備	②	菅生地区畑地帯総合整備事業			圃場整備															
	③	県営鴻野山地区畑地帯総合整備事業			圃場整備	③	県営鴻野山地区畑地帯総合整備事業			圃場整備	③	県営鴻野山地区畑地帯総合整備事業			圃場整備															
	④	農業基盤整備促進事業小谷沼地区			水路更新	④	農業基盤整備促進事業小谷沼地区			水路更新	④	農業基盤整備促進事業小谷沼地区			水路更新															
	⑤	小規模土地改良事業			8組合	⑤	小規模土地改良事業			7組合	⑤	小規模土地改良事業			7組合															
	⑥	鬼怒・若宮戸地内用排水路整備事業			水路更新	⑥	農業基盤整備促進事業菅生地区			水路更新	⑥	鬼怒・若宮戸地内用排水路整備事業			水路更新															
	⑦	農業基盤整備促進事業小保川地区			水路更新	⑦	用排水路整備事業報恩寺地区			水路更新	⑦	農地耕作条件改善事業			圃場整備															
	⑧	農業基盤整備促進事業菅生沼地区			水路更新	⑧	農業基盤整備促進事業三坂大生地区			圃場整備	⑧	用排水路整備事業報恩寺地区			水路更新															
	⑨					⑨	菅生地区観音排水路護岸工事調査			水路整備	⑨	菅生地区観音排水路護岸工事調査			水路更新															
	⑩					⑩	経営体圃場整備事業三坂地区調査			圃場整備	⑩	農業生産基盤整備事業岡田地区			水路更新															
	⑪					⑪	県単調査事業桶道地区			水路更新	⑪	経営体圃場整備事業三坂地区調査			圃場整備															
	⑫					⑫					⑫	施設維持管理適正化事業江連八間地区			水路更新															
目標値に対する実績値				10	組織	目標値に対する実績値				11	組織	目標値に対する実績値				13	組織													
決算額	計	70,329,203	円	内訳	特定財源	25,412,571	円	一般財源	44,916,632	円	計	107,342,316	円	内訳	特定財源	34,967,727	円	一般財源	72,374,589	円	計	99,688,719	円	内訳	特定財源	43,842,601	円	一般財源	55,846,118	円
	(住民一人あたりの行政コスト)				1,137	円	(住民一人あたりの行政コスト)				1,765	円	(住民一人あたりの行政コスト)				1,649	円												

5 担当者評価 ㉒ <small>実施したことによる成果や問題点を記入してください。</small>													
成果	目標どおり	成果内容	成果として目標はないが、多面的機能支払交付金については、活動組織の活動内容が十分発揮され、想定以上に農地の管理をして頂いた。また、施設の老朽化に伴う補修等が多い中、予定どおり調査修繕等が実施され、本来の施設の機能回復ができた。										
	問題点	特になし											

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓ <small>担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。</small>													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由													
当市の農業は基幹産業であり、農業用施設の修繕等は必要不可欠であるため引き続き事業を推進する。また、多目的機能支払交付金は、地域の皆様が自主的に農地の維持管理等を行う事業のため、引き続き継続していく。													

7 実施計画 ㉔ <small>今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。</small>																								
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度															
事業内容	・多目的機能支払交付金にて13組織に維持管理の補助 ・県営鴻野山地区畑地帯総合整備事業において圃場整備 ・小規模土地改良事業において維持管理組合に施設修繕の補助 ・水海道揚水機場の撤去工事(国との連携) ・菅生地区観音排水路護岸工事調査による水路の護岸整備 ・経営体圃場整備事業三坂地区調査による圃場整備 ・用排水路整備事業報恩寺地区によるパイプライン(水路)更新 ・鬼怒・若宮戸地内用排水路整備事業による水路更新 ・農業生産基盤整備事業岡田地区によるパイプライン(水路)更新 ・農業生産基盤整備事業菅生沼南部滝下地区による機場クレーンの修繕 ・農業生産基盤整備事業菅生沼南部大木地区による機場ゲートの修繕 ・施設維持管理適正化事業桶道機場において機場の修繕 ・農業生産基盤整備事業飯島地区による水路の修繕				・IC周辺土地改良事業認可計画書作成業務委託料 ・古間木新田排水路整備工事費 ・県土地改良事業団体連合会負担金 ・多目的機能支払交付金にて13組織に維持管理の補助 ・県営鴻野山地区畑地帯総合整備事業において圃場整備 ・小規模土地改良事業において維持管理組合に施設修繕の補助 ・経営体圃場整備事業三坂地区による圃場整備 ・鬼怒・若宮戸地内用排水路整備事業による水路更新 ・農業生産基盤整備事業岡田地区によるパイプライン(水路)更新 ・県単土地改良事業花島揚水機場水中ポンプ更新工事 ・維持管理適正化事業岡田地区岡田機場ポンプ修繕工事 ・維持管理適正化事業岡田地区篠山深井戸機場ケーシング更新工事 ・維持管理適正化事業小谷沼北部地区ゲート工事 ・維持管理適正化事業小谷沼南部第2揚水機場ポンプ改修工事 ・農業生産基盤整備事業小谷沼南部地区小排水路横断暗渠改修工事 ・農業生産基盤整備事業小谷沼地区幹線排水路ネットフェンス修繕工事 ・農業生産基盤整備事業常総地区大日堂樋管ゲート及び喜兵衛樋管改修工事 ・農業生産基盤整備事業菅生沼南部板戸井地区逆止弁・仕切弁・制御盤の更新工事 ・入沼排水路修繕工事(護岸・水路改修)※金額未定				・多目的機能支払交付金にて13組織に維持管理の補助 ・県営鴻野山地区畑地帯総合整備事業において圃場整備 ・小規模土地改良事業において維持管理組合に施設修繕の補助 ・菅生地区観音排水路護岸工事調査による水路の護岸整備 ・経営体圃場整備事業三坂地区による圃場整備 ・維持管理適正化事業 報恩寺地区 支線水路改修工事															
	予算額	歳出	計	120,958	千円	歳出	計	94,530	千円	歳出	計	77,052	千円	歳入	計	34,963	千円	歳入	計	85,995	千円	歳入	計	120,958

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。石下地区鴻野山市内の畑地改良の成果を拝見したが、地区の事業農家の効率化に非常に驚いた。今後もぜひ継続されたい。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由													
水路や農道等、農家だけが利用しているのではなく、地域住民で利用している部分がある。以前は農家で管理していたが、昨年、農家の高齢化や後継者不足により農家だけは限界がある。維持管理を組織することで、地区の環境美化や地域を守る活動となる。地域住民の理解を得ながら、農地の維持管理を支援していく。													

11 事務事業の改善理由 ㉖ <small>実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。</small>													
・多目的機能支払交付金事業を活用し、活動組織を立ち上げ増やす事により、水路清掃や農道の草刈りなどを住民組織で実施することにより、自分たちの地域は活動を通して守っていくという地元意識を高めることが出来て、住民同士の絆が生まれてくる。													
・土地改良施設の老朽化に伴い突発的に施設が故障し急遽修繕等が発生することが多々ある。													